

製品安全データシート

(MATERIAL SAFETY DATA SHEET)

【1. 製造者情報】

会社名 株式会社グローバルゲイツ
住所 東京都台東区蔵前4-3-4 サンライズ蔵前ビル2F
責任者名 梅村 真行
電話番号 03-5920-4858 F A X 03-6701-7337
緊急連絡先 同上 作成 平成29年3月

【製品名（商品名等）】

ウィンコート WINCOART

【2. 物質の特定】

単一製品・混合物の区別：混合物
成分：天然ワックス、テルペン系溶剤、珪酸系鉱物、界面活性剤
国連分類及び国連番号：該当しない

【3. 危険有害性の分類】

分類の名称：水溶性液体
危険性：火災・爆発の危険性はない。ただし、加熱し水分が蒸発した場合、引火する場合もある。
有害性：目に刺激あり。人により皮膚への刺激あり。飲用不可
環境影響：知見なし

【4. 応急措置】

目に入った場合：直ちに多量の流水で15分以上洗眼する。
洗眼は瞼を指で開き全面に水がよく行き渡るように洗う。
異常を感じる場合は直ちに医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合：汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水か微温湯を流しながら石鹸を使ってよく洗い落とす。皮膚の弱い人は保護クリーム等を塗布する。外観に変化が見られたり痛みが続いたりする場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静を保つ。状況に応じて医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合：直ちに水でよく口の中を洗う。水、牛乳又は食塩水を飲ませ吐き出させ（無理に吐き出させてはいけない）医師の診察を受ける。もし意識がない場合は吐かせたり口から何か与えたりしてはいけない。

【5. 火災時の措置】

消火方法：火元への消火源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火作業は、安全眼鏡やゴム手袋等の保護具を、また状況に応じては呼吸用保護具を着用し、風上から行う。関係者以外は、安全な場所に退避させる。
周辺火災の場合は露出防止や加熱分解防止等の目的で直ちに他の安全な場所に移動する。
消火剤：粉末、泡、炭酸ガス、水、乾燥砂など。

【6.漏出の措置】

回収作業などに当たるものは、必要な保護具を着用し風下で作業する。
 少量の場合：漏洩した液はウエス等に吸着させ空容器に回収する。その
 あと公害問題を起こさないように注意して水で洗い流す。
 多量の場合：漏洩した液は、乾燥砂、土砂等で流れを止め、ポンプやス
 コップ等で空容器に回収する。そのあと公害問題を起こな
 いように注意して水で洗い流す。
 ＊どちらの場合も、泡が多い場合は消泡剤を散布する。

【7.取扱い及び保管上の注意】

取扱い：眼・皮膚及び衣類に触れないように保護具を着用する。
 漏れ、あふれ、飛散しないように注意する。
 取り扱い場所周辺の火気使用を厳禁する。
 漏洩した時は早期に完全除去を行う。
 取扱った後は、手、顔などを洗浄しておく。

保管：屋内倉庫の換気の良い冷暗所（常温以下）に保管する。
 一度開封された容器は注入口をウエス等できれいに拭き取り、再度完全
 密封して保管する。

【8.暴露防止措置】

管理濃度：設定されていない。
 許容濃度 日本産業衛生会勧告値：設定されていない。
 ACGIH (TLV)：設定されていない。
 OSHA (PEL)：設定されていない。

設備対策：取り扱い場所近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具 呼吸用保護具：特に必要ない。
 保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡。
 保護手袋：ゴム手袋。
 保護衣：定められた作業衣、安全靴を着用する。

【9.物理／化学的性質】

外観等：淡緑色液体
 沸点：100℃
 融点：なし
 蒸気圧：なし
 密度 g/cm³ (15℃)：0.967
 PH：10.2
 溶解性：水、アルコールに可溶

【10.危険性情報】

引火点：なし
 発火点：なし
 爆発限界 上限：なし
 爆発限界 下限：なし
 燃焼性：なし
 発火性（自然発火性、水との反応性）：なし
 酸化性：なし

自己反応性・爆発性：なし
 粉塵爆発性：なし
 安定性・反応性：酸により中和される

【 11. 有害情報（人についての症例、疫学的情報を含む）】

皮膚腐食性：情報の入手が困難
 皮膚刺激性：情報の入手が困難
 目刺激性：情報の入手が困難
 感作性：情報の入手が困難
 急性毒性：ラット 経口 LD50 5000mg/kg（テルペン系溶剤の情報として）
 ラット 経皮 LD50 5000mg/kg（テルペン系溶剤の情報として）
 亜急性毒性：情報の入手が困難
 慢性毒性：情報の入手が困難
 がん原性：情報の入手が困難
 変異原性：情報の入手が困難
 生殖毒性：情報の入手が困難
 催奇形性：情報の入手が困難
 その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）：情報の入手が困難

【 12. 環境影響情報】

分解性：情報の入手が困難
 蓄積性：情報の入手が困難
 魚毒性：情報の入手が困難
 その他：情報の入手が困難

【 13. 廃棄上の注意】

- a) 事業所は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。（産業物の処理及び清掃に関する法 第10, 12, 13, 14条等）
- b) 排水は必ず中和沈殿処理を実施し、都道府県市町村等の定める規制値を厳守して放流する。

【 14. 輸送上の注意】

輸送上の注意事項：取扱注意事項等の注意の項の記載による他、運搬に際しては容器・包装に漏れのな
 いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に
 行う。

長時間の直射日光及び雨等を避けるよう箱型積載車がよい。

漏出時の措置：“【 6.漏出の措置】”を参照

取扱い及び保管上の注意：“【 7.取扱い及び保管上の注意】”を参照

【 15. 適用法令】

消防法：該当しない
労働安全衛生法：該当しない
有機溶剤中毒予防規則：該当しない
船舶安全法：該当しない
毒物劇物取締法：該当しない
P R T R 法：該当しない

【 16. その他】

事故・火災事例：記載される情報はない。

記載内容の問い合わせ先：“【 1. 製造者情報】”を参照

引用文献：危険物ハンドブック（ギュンター・ホンメルン編）

13599の化学商品（化学工業日報社）

化学大辞典（東京化学同人）

本商品に使用の原料メーカー発行の製品安全データシート

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。また本品の適性に関する決定は使用者の責任において行って下さい。